

令和6年5月13日

生徒総会 挨拶

新しい年度が始まって、早くもひと月が経ちます。このひと月の間、学校においては、学習や新しい実習、部活動にと新たな知識・技術の習得に、充実した日々を過ごすことができていたのではないかと思います。

また、教室や部室、家庭においても新たな役割を担って、活動を励み、喜ばれてきたことでしょう。

さて、生徒総会を前に、私から一言、挨拶をいたします。

生徒会活動とは、よりよい学校生活を送るために「誰かが何かをしてくれる。」ということではなく、「**生徒自らが組織の一員として、自分は何ができるか**」という活動です。

先に話をしたように、皆さんは、インテリア科〇年やサッカー部バレー部野球部などや、家庭において、その組織の一員です。

社会に出ても地域や会社の一員で、**自分の役割を自らが認識して、行動することで喜ばれ**、生活の場でも、家族に喜ばれ、こころ豊かに暮らし、会社では手当をいただき自らの生きがいややりがいを感じることで、「**自らの存在価値を、自らが認識できる**」ようになれるのです。

話は変わりますが、私は先月もお話ししたとおり、3度目、14年目の赴任です。

長い教員生活の中では、多くの事柄を生徒や職員の皆さんと共有してきました。先日、サッカーの地区大会へ応援に行った際も、子どもの応援に来ていた教え子と会い、学校が繋いでくれた縁を喜びました。このようなことから私はどの学校よりも隼工に思い入れがありますし大切に思っています。



そんな隼工が先週行われた地区大会で優勝するなどの活躍を見せてくれて自分のことのように嬉しく思い、皆さんや指導して下さった先生方を誇りに思いました。このことはおそらく皆さんの保護者や卒業生、学校があるこの隼人の地域の皆さんにとっても、同じ思いではないかと推察いたします。県大会でも皆さんを誇りに思う気持ちを、皆さんの心の支えに、活躍してくれることを祈念しております。

これらのことから私たちは、直接的、間接的に皆さんと関わり、それぞれの組織の中で支え合っています。

今日は、皆さんのことを思ってくださいの方々と、地域に所属する学校で、よりよい学校生活を皆さんと楽しく送るために、課題や目標を出し合って、意義有る会にしてもらえることを期待して、私からの挨拶といたします。